

移動サロン「ほっこり」 2023年活動報告会



移動サロン「ほっこり」サポートグループ
2023年8月22日

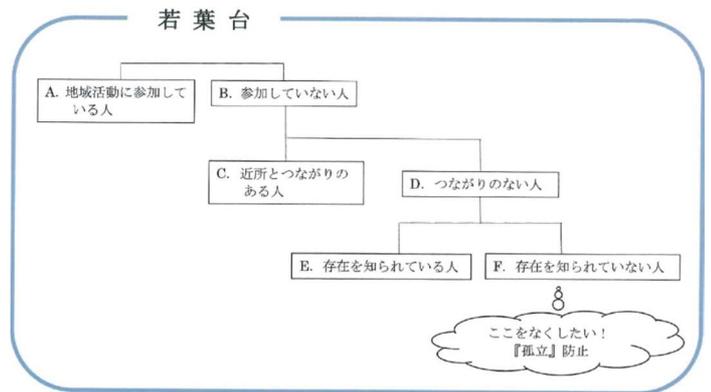
1. 移動サロン「ほっこり」とは

(1) 移動サロン「ほっこり」開催の目的

誰でも・気軽に・近くで参加できる、世代を超えた交流の場を提供することにより、多くの人とつながっていることを実感していただき、困った時に声をあげられる雰囲気のある、社会的孤立の無い街づくりを目指す。

(2) 移動サロン「ほっこり」開催に至る経緯

若葉台地区社会福祉協議会では、きらっとあさひプラン（第3期旭区地域福祉保健計画）地区別計画を推進しています。目指す地区の姿は「孫子老のまち若葉台を目指して～現在から未来へ～」です。その為の目標の一つに「向こう三軒両隣につながるコミュニケーション」があり、具体的取組の一つとして「地域での孤立を防止する」活動に取り組んでいました。



2018年10月から地域福祉保健部会を開催してきました。1年間の議論を経て「孤立」⇨「困った時に声をあげられない！」で理事の方々に意見を共有することができました。

そして「孤立」⇨「困った時に声をあげられない！」対策推進の為に「あいさつ運動」と「移動サロン」活動を展開することを決定しました。

さらに、2021年度から始まった第4期旭区地域福祉保健計画では、若葉台地区での未来図として『**困ったときに声をあげられる雰囲気のあるまちづくり**』を掲げ、以下の4つも目標を設定して活動をしています。

- 目標A：お互いを気にかけてあう環境を作る
- 目標B：地域のだれもが参加のできる機会がある
- 目標C：だれもが気軽に集まれる身近な場がある

目標D：地域の取り組みを多くの人に伝える、だれもが地域へ情報を発信できる
移動サロン「ほっこり」は目標Aと目標Cを実現する為に活動を行っています。



(3) 移動サロン「ほっこり」の開催の歴史

- ①2019年9月19日：理事会において移動サロン開催に向けて移動サロン部会設置を承認。
- ②2019年10月17日：理事会で移動サロン部会から11月19日試行開催を提案し承認。
- ③2019年11月19日：まちづくりセンターのテントを借りて「わかばの広場」で初開催。
⇒参加者：50名、スタッフ：12名、ケアプラザ：5名、区役所：4名、区社協：1名
- ④2019年12月17日：定期開催始まる（第3火曜日）。
- ⑤2020年6月2日：第一火曜日開催に変更。
- ⑥2020年7月2日：移動サロン「ほっこり」ののぼり旗を設置して開催。
- ⑦2020年10月6日：自前テントを使って「わかばの広場」で開催。
- ⑧2020年10月21日：丸太広場で初の出張開催。
- ⑨2020年11月3日：若葉台地域ケアプラザの協力で「ケアプラザ相談会」併設。
- ⑩2020年12月1日：横浜調剤薬局の協力で「お薬相談会」併設。
- ⑪2021年7月6日：まちづくりセンターの協力で「住宅よろず相談会」併設。
- ⑫2022年2月24日：移動サロン「ほっこり」サポートグループが社協理事会で承認。
- ⑬2022年5月5日：「多世代交流みんなあつまれ!!」に初参加。
- ⑭2022年9月4日：地区社協より福祉団体助成金を受領、会計独立へ。
- ⑮2022年11月1日：移動サロン「ほっこり」サポートグループ主催で初開催。
- ⑯2022年11月15日：「商店街40周年」に参加。
- ⑰2022年12月6日：「スマホ相談会」併設。
- ⑱2023年3月7日：「お絵かきコーナー」併設。
- ⑲2023年8月1日：開催回数が50回目に達する。



2. 活動報告

(1) 活動開始からの活動

移動サロン「ほっこり」活動の開催当初からの活動履歴は、別紙グラフ「移動サロン「ほっこり」開催履歴」をご覧ください。

お陰さまで移動サロン「ほっこり」を支えて下さる、移動サロン「ほっこり」サポートグループのメンバーは25名になります。

(2) 2022年度の活動

- ① 2022年度は、「多世代交流みんなあつまれ!!」、「商店街40周年」への参加を含めて12回開催しました。(除く、雨天中止1回、強風中止1回)
- ② 2022年4月は、BGMを開始。
- ③ 2022年5月は、バルーンアートで大人気になる。
- ④ 2022年8月には、Jrボランティアのご協力を頂くことができた。
- ⑤ 2022年12月からは地域ボランティア(伊藤氏)のご協力で「スマホ相談会」を併設して開催、多くの相談者が訪れています。
- ⑥ 2023年3月からは若い子育て世帯を取り込む為に「お絵かきコーナー」を併設。
- ⑦ 2022年度の参加者469名、スタッフ306名、相談者60名で、地域の交流の場として定着しています。
- ⑧ 2022年度下期より地区社協の福祉団体助成金を頂いて、会計的に独立して活動開始しました。(それまでは地区社協会計)
- ⑨ 開催時にカンパ金は合計18,128円。また、商店街40周年参加時にはわかば会より寸志10,000をいただき、合計28,128円は貴重な財源になっています。
- ⑩ 6月、2月、3月には他地区の方の視察あり。
- ⑪ 開催時には毎回姫井氏が「折り紙アート」を届けてくださっている。

